

整理番号	2024M-	199	補助事業者名	社会福祉法人ふくふく会	事業項目名	特殊浴槽の整備
------	--------	-----	--------	-------------	-------	---------

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2024	年	9	月	25	日	作成者	奥田圭史
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	特殊浴槽を導入することができ、不具合なく安心して利用してもらうことができている。機械操作も易しいので、入浴対応職員を増やし体制を整えることが出来ている。				
	事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	実施計画・体制	特殊浴槽の操作ができる入浴対応職員を増やして、効率的に稼働させていく体制にする。			4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2024年8月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 目標値は2024年7月としていたが、事業実施予定表では、納品は7月中旬から8月末で計画を立てていた中で、特に問題はなかった。入浴希望の方も多いので、導入から2日後に稼働させている。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 月間特殊浴槽利用者数約50名	[達成状況] 80%	[具体的内容] 新しい特殊浴槽になる前より利用して頂いている方は、継続して全員問題なく使用して頂いている。今後、より宣伝を行ない、新規の利用者獲得を図っていく。	3
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1, 広報チラシ発行 2, HP掲載、掲示	[達成状況] 1, 80% 2, 80%	[具体的内容] 1, 機器導入の広報誌を作成する。随時、受益者や関係者に配布して周知する。またイベント等にも準備する。 2, HP掲載を現在進めている。	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1, 広報チラシ作成 2, HP掲載、掲示	[達成状況] 1, 80% 2, 80%	[具体的内容] 1~2, 上記の情報発信の際に、JKAの補助金事業であることを明示する。	4
(5) 自己評価の体制	評価委員会を開催し評価を行った。評価結果の掲載は10月~11月に行う予定。				4

(b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	機器導入後、2日以内に稼働ができたので利用者の皆様に迷惑をかけずにサービスを提供することができた。機器の不具合もないので、安心して入浴サービスを提供することができている。今後は入浴を必要としている新規の利用者獲得に繋げることができればと期待する。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	機器操作が分かり易く、入浴介助の負担も軽減されたので、入浴対応できる職員が増えた。新しいので、故障もなく安心して使用できている。ポディーシャンプーで身体を洗えるが、身体を洗ってもらえる感じがしないとのことなので、今まで通り入浴前に職員が身体を洗うことにしている。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	今回の特殊浴槽はシャワータイプであり、今までの入浴方法と異なるので心配はあったが、利用者からは好評である。

整理番号	2024M-	199	補助事業者名	社会福祉法人ふくふく会	事業項目名	特殊浴槽の整備
------	--------	-----	--------	-------------	-------	---------

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画／自己評価書(5/5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部 要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要 な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
			(5) 事業運営のノウ ハウ(進捗管理、 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変 更(主に建築)		
			(7) その他		
外部 要因			(8) 受益者の 規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外 の団体等の協 力・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出 現		
		(15) その他			
	*		(16) 特になし		